

新潟地方気象台（令和7年3月20日発表）によると、向こう1か月の気温は寒気の影響を受けにくいため平年並みか高く、降水量、日照時間はほぼ平年並みの予報です。

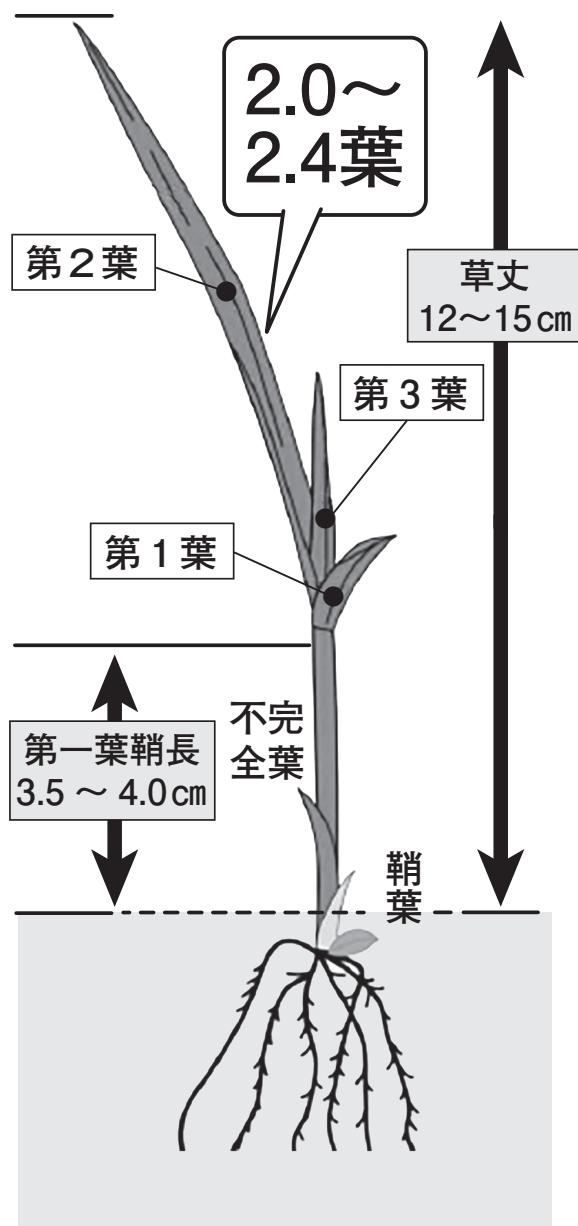
## 稲作技術情報

## 「健苗育成」

～初期生育の確保で収量・品質アップ！～

## 1. 高温条件に合わせた播種・育苗計画②

あぜみちNo.1 でも記載しましたが、近年は「老化苗」や「徒長苗」が散見されます。本来、生育初期に発生する分けつは、太く丈夫である良質茎であるため、穂数確保に直結し、収量アップに繋がります。健苗育成と適期移植をすることによって初期生育（分けつ）を充実させましょう。



## 移植適期の「健苗」

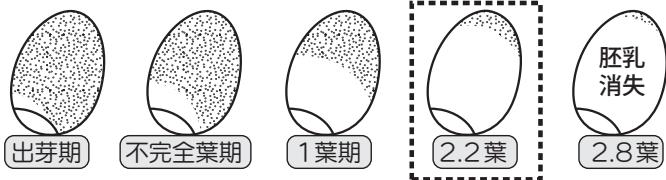
- ①草丈 12~15cm
- ②葉齡 2.0~2.4葉
- ③第1葉鞘長 3.5~4cm



- ・茎が太く、ガッシリしている
- ・葉の色が濃い
- ・葉先がたれずシャキッと直立している

## 葉齡を2.0～2.4葉で移植するメリット

【種もみの残存胚乳率】



種粒内の養分を残して移植をすると、低温条件下でも活着が早まり、初期生育が向上します！

## 健苗育成定規

苗丈12cm、葉齡2.0葉 を移植しましょう！	
表 育苗適期別の温度管理(℃)	
日間	夜間
緑化期 20~25	15~18
硬化期 15~20	10以上



## 【健苗育成定規】を活用しましょう！



4月中旬頃から各アグリセンター店舗にて無料配布いたしますのでご活用ください。

## 2. 初期分けつ確保に向けた取り組み

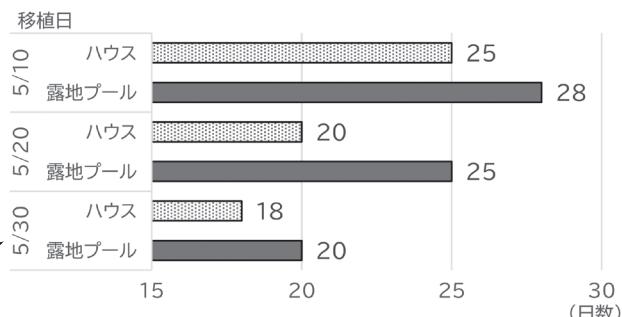
### ①段播きによる適期移植

健苗を適期に移植することは活着を良好にして、初期分けつの確保に繋がります。移植作業が一週間以上かかる場合は時期毎の育苗日数に注意しながら、段播きを行いましょう。

5月下旬に移植する際、育苗期の外気温の高まりにより、浸種の水温上昇や生育の早まりにより育苗日数（播種～移植）が短縮されます。

老化や徒長に注意して管理しましょう！

### 【育苗日数（播種～移植）の違い】



情報提供：南魚沼農業普及センター  
※上記の日数は目安です。実際の気候と苗姿を見て、育苗・田植え作業を行いましょう。

### ②移植前追肥は初期分けつ確保に有効

移植後の活着を早めるため、移植前4～5日頃窒素成分で1～2g/箱の追肥を検討しましょう。但し、徒長苗は追肥を控えましょう。

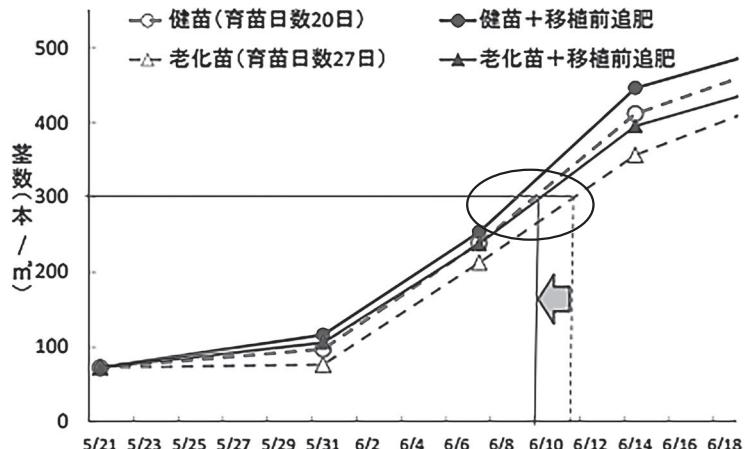
#### 【移植前追肥例（苗箱1枚当たり窒素成分1g）】

肥料名	苗箱1枚あたり (N:1g) 使用量	苗箱100枚あたり 使用量
硫 安	5g	500g
くみあい 液肥2号	液肥 10ml 200倍希釀液 2ℓ	液肥 1000ml 200倍希釀液 200ℓ

参考：硫安3kgで600枚分、液肥6ℓで600枚分

- ・プール育苗の場合は落水後に液肥を施用するか、育苗箱の上まで水を張って肥料を施用しましょう。（施肥後2日間程度落水しない）
- ・施肥後は葉に付着した肥料による葉ヤケ防止のために散水、送風等を行いましょう。

### 【分けつ期の茎数の推移】（R3 新潟県水稻栽培指針より）



### 育苗期の主な注意点

#### ～ハウス育苗の場合～

- ・開閉の目安は6時～15時！
- ・灌水は15時までに行う（根張り不良や徒長の防止）
- ・外気25℃以上（ハウス内40℃以上）ヤケ苗に要注意！

暖気を逃がさず、保温して、根張りを良くしましょう！

#### ～露地プール育苗の場合～

- ・育苗初期にヤケ苗が心配なときは、浅く水を張り、十分に水を吸わせた後に排水をしましょう！

### 3. 播種～育苗期の管理

#### ●播種

芽や根の伸ばし過ぎは、播種時のバラつきの原因になります。播種時の粉水分は、粉を手で握り、手を開いた時に落ちる程度まで水を切ります。播種量は下記の目安を参考に調節しましょう。  
※床土・覆土に関しては前号「あぜみち No.1」の4ページをご参照ください。

#### 【播種量の目安】

苗の種類	播種量 (1 箱当たり)		必要箱数 (10a当たり)
	乾粉	催芽粉	
稚苗	130～140g	160～175g	16～18箱
中苗	100g	120g	27箱

#### 【播種密度の目安】



#### 注意!!

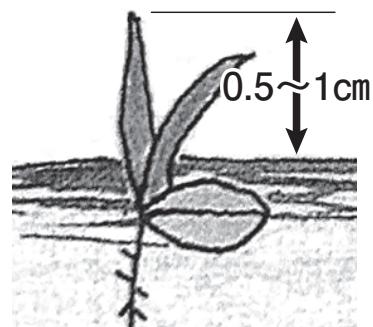
高密度播種は移植適期が短い為、一般的な播種量の苗と比べて、特に計画的な作業をお願いいたします。

#### ●出芽期

被覆資材や管理方法で出芽日数が異なるため、注意しましょう。  
また、出芽時に粉が露出した場合は覆土を追加しましょう。

温度管理	日中	30～32℃
	夜間	
日 数	加温	2～3日程度
	無加温 (ハウス)	5～7日程度
	無加温 (露地)	7～14日程度
灌水		行わない
終了目安		出芽長 0.5～1.0cm

#### 【出芽期終了時の理想図】

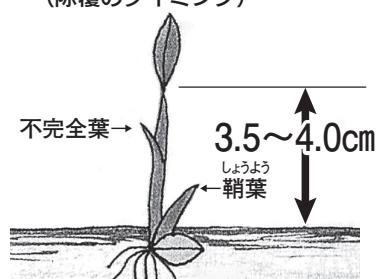


#### ●緑化期

除覆の遅れは徒長苗の要因となるため、被覆資材は第1葉の完全展開 (第一葉鞘長 3.5cm) を目安に除覆しましょう。

温度管理 (ハウス内)	日中	20～25℃
	夜間	15～18℃
日数		2～4日
灌水方法	箱周辺が乾いたら午前中にたっぷり行う	
終了目安	第一葉の完全展開、第一葉鞘長 3.5～4.0cm	

#### 【緑化期終了時の理想図】 (除覆のタイミング)



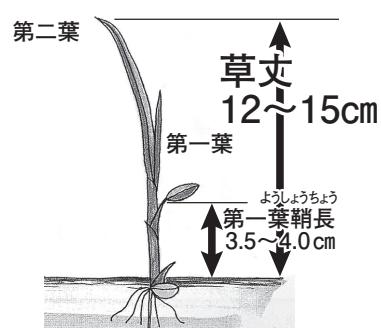
※育苗期間中は、被覆資材内の温度が40℃以上にならないよう注意しましょう。

#### ●硬化期

硬化期の前半は8℃以下の低温や20℃以上の高温にならないよう注意しましょう。

温度管理 (ハウス内)	日中	15～20℃
	夜間	10～15℃
日数		10～14日
水管理	1日に1～2回、午前中にたっぷり行う (15時以降の灌水・入水は避ける)	
終了目安	草丈 12～15cm	

#### 【硬化期終了時の理想図】



## 4. 育苗期の障害と対策

近年、育苗期間中の気温差が大きいため、ムレ苗やヤケ苗等の育苗障害が散見されます。育苗期間中の温度管理が重要となるため十分留意しましょう。

### 【育苗期の主な障害と対策】

障害	症状	原因	対応と今後の対策
ムレ苗	2葉期になった頃、葉身が急に巻き始め、次第に周囲に円形で広がり枯死する。	①床土のpHが高い ②床土の透水性が悪い ③厚播き ④急激な温度変化 (8°C以下の低温とその後の高温)	①温度の激変を避け、夜間の温度を8°C以下にしない。 ②床土のpHや透水性に留意する。 (人工床土ではpHは調整されています) ③厚播きや徒長を防止する。
ヤケ苗	出芽、生育が停滞し、重度の場合黄化、枯死する。根の発育が劣り、マット形成が不十分になる。	①出芽・緑化期のハウス・被覆資材内の高温	①晴れの日は、朝早めにハウスの換気を十分に行う。 ②播種時期に応じて適切な被覆資材を選定する。
老化苗	草丈、葉数、根の生育が停滞し、茎葉が褪色・黄化し下葉が枯れあがる。本田の初期生育が著しく遅れる。	①厚播きと基肥多窒素、高温・多湿管理による育苗中の過繁茂 ②栄養・水分不足 ③育苗日数の過長	①適正播種量を厳守する。 ②育苗初期の伸長を抑え、過剰生育を防止する。
徒長苗	草丈が長く、上位葉が下垂する。細茎・軟弱化して乾物重が少ない。本田での植え傷みが大きい。	①厚播き ②窒素肥料の過剰 ③被覆資材除去の遅れ ④ハウス内の高温、日照不足	①苗が老化する前に移植する。 対策は老化苗に準ずる。

## 5. 被覆資材の特徴

被覆資材は材質により特徴が異なり、播種時期や育苗条件に応じて組み合わせることで安定した育苗管理ができるようになります。近年は、育苗期の高温によりヤケ苗等が多く発生していることから、高温対策被覆資材を活用して健苗の育成に努めましょう。

また、資材の劣化等で効果も変化するため、状況をご確認の上ご使用ください。

### ●高温対策被覆資材（ハウス育苗向け・露地育苗4月中旬以降の播種）

組み合わせ	特徴
おすすめ！ ハイホワイトシルバー	ハイホワイト（白色面）の高い反射効果で、高温障害、苗焼けを防止し、シルバー（裏面）の保温・遮熱効果で適度な温度を維持します。
おすすめ！ トーカンほなみ	晴天高温時の床土温度の上昇を抑制し、苗ヤケ防止に有効です。かさばらず取り扱いやすい資材です。気温が高まる4月中旬以降の播種におすすめです。

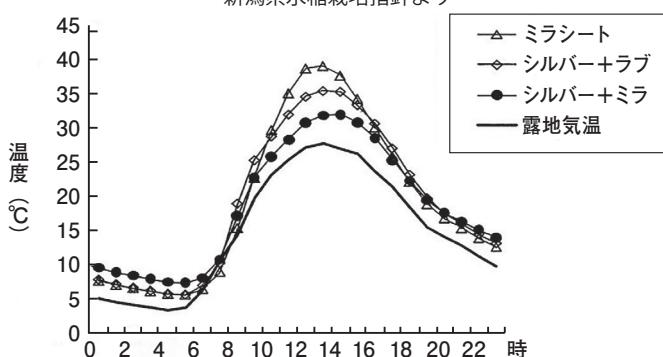
### ●保温対策の被覆資材（露地育苗、無加温育苗向け、4月上～中旬の播種）

組み合わせ	特徴
シルバー・ポリトウ（上）+ラブシート（下）	内部温度が高まりやすく、4月中の育苗向けです。5月以降は、晴天高温時に苗ヤケしやすいので注意してください。
シルバー・ポリトウ（上）+ミラシート（健苗シート）（下）	単独の場合、内部温度の高まりやすいミラシートですが、遮光効果のあるシルバー・ポリトウとの組み合わせで、保温効果が安定します。

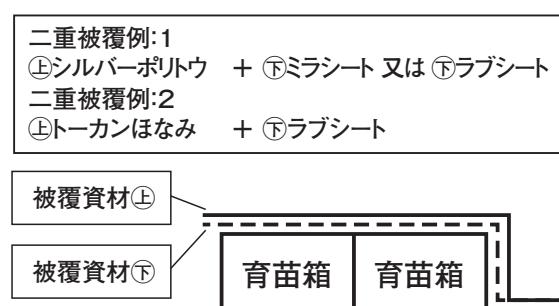
※シルバー・ポリトウ（ポリ+アルミ複合）、ラブシート（不織布）、ミラシート（白スponジ系）

#### 図1 被覆資材別の床土温度の推移

新潟県水稻栽培指針より



#### 図2 被覆資材の使用例



# 「丁寧な本田作業」

～ゆっくり丁寧な深耕で根の生育環境を整えましょう～

## 1. 耕深15cmの確保による根域の確保

深耕のメリット.....

根が深くまで分布できる

- 養水分の吸収効率が高まり、高温下でも茎葉の枯れ上がりが少なくなります。
  - 根域が広くなり、気候変動の影響を受けにくく、収量・品質が安定します。
- ※有機物や土づくり資材の施用と併せて、毎年少しづつ耕深を深めることが必要です。

### 【深耕を目指した回り耕ち】

ロータリーの左側にチェーンケースがある場合は、時計回りで耕起しましょう。(右の場合は反時計回り)

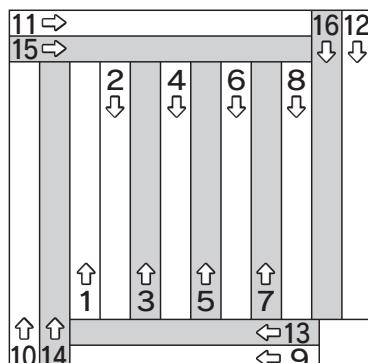
チェーンケースが耕起した土中まで下がり、一般的な順路よりも耕深が深くなります。

※図の黒い部分はチェーンケースが土中まで下げられる部分です。

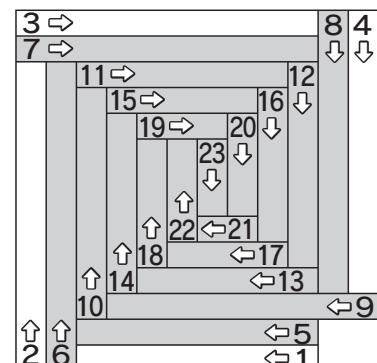
### 【トラクター順路図】

(令和2年度改定版 新潟米おいしい米づくりのポイントより)

#### 【一般的な順路】



#### 【回り耕ち順路】



## 耕起作業は圃場内が極力乾いた状態で行いましょう！

※過湿の状態では耕深が浅くなり、深さが不均一になりやすくなります。さらに稻わらの腐熟が進みにくくなり、ワキの発生などによって、稲の生育に悪影響を及ぼします。

- 土壤を乾燥させてから、ゆっくり平らに仕上げることで

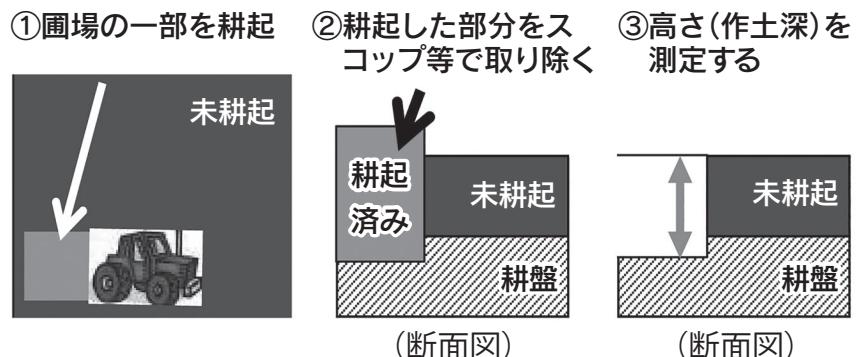
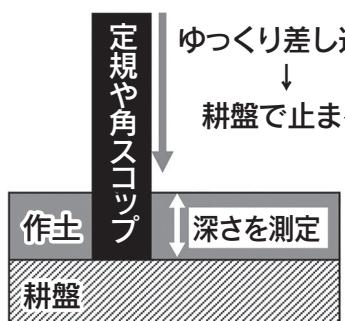
- ①土壤内の窒素発現量が増加します。（乾土効果）
- ②新鮮な水や酸素が供給され、根が張りやすくなります。

「根が太くて白い、根毛の多い状態」となるような田んぼづくりをしましょう！

### 耕深の確認方法

(ア)前年度の耕深の測り方

(イ)耕起作業中の確認方法



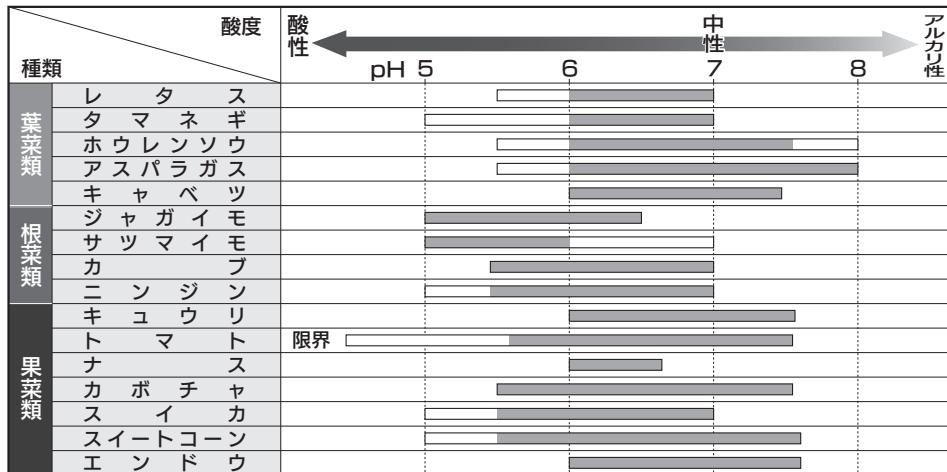
## 春の土づくり準備

春の定植シーズン前に2つのポイントをおさえて、土づくりを行いましょう。

### 1. 野菜が好む土の酸度

野菜にはそれぞれ成長しやすい土の酸度があり、pH(ペーハーまたはピーエイチ)値で表されます。

#### 【野菜別の好酸度】



一般的に、野菜を栽培する場合はpH6.0～6.5程度の土壤が理想的とされていますが、一般的な土壤はpH5.0～5.5と酸性側に偏っていることが多いです。畑の土壤を野菜が成長しやすいpH値にするために、簡易酸度計でご自身の圃場の土の酸度を確認して、アルカリ分を含む資材での酸度矯正を行いましょう！

#### 【おすすめ資材】

資材名	1袋重量	特徴
粒状苦土炭カル (M-10)	20kg	アルカリ分55% 粒状で撒きやすい。 耕耘後3日程度で播種・定植可能。
DL消石灰(粉状)	20kg	アルカリ分72% 耕耘後1週間ほどで播種・定植可能。
畑のカルシウム	20kg	pH調整はできないが、カルシウム供給が要るジャガイモなどに効果的。

#### 【pH調整に必要なおおよその石灰量 (10m<sup>3</sup>)】

目標酸度		pH5.8	pH6.0	pH6.2	pH6.4
pH 5.5～5.0	苦土炭カル	0.25～0.75kg	0.45～0.90kg	0.65～1.10kg	0.85～1.30kg
	消石灰	0.20～0.50kg	0.30～0.60kg	0.45～0.75kg	0.55～0.85kg

### 2. 肥料

肥料は野菜が育つために必要なものです。その中でも肥料の三要素と呼ばれるものは野菜の各部位に欠かせない養分です。適量の肥料を施用して生育向上を目指しましょう。

#### 【肥料の三要素】

三要素	特徴
窒素 (N)	葉肥とも言われ、作物の葉を茂らせ、枝や茎を形成する。
リン酸 (P)	実肥・花肥とも言われ、開花や実の成熟に関係する。
カリ (K)	根肥とも言われ、根の発育や耐寒性、耐病性を高める。

他の要素として、中量要素のカルシウム (Ca)、マグネシウム (Mg) や、微量要素のマンガン (Mn)、亜鉛 (Zn)、ホウ素 (B)、鉄 (Fe)、モリブデン (Mo)、硫黄 (S) などがあります。

## 【おすすめ資材】

資材名	施用量 (10 m <sup>2</sup> )	説明
MMB燐加安 [14-10-13] N P K	1.0 ~ 2.0kg	微量元素を含む畑専用の化成肥料であり、園芸のオールマイティ肥料です。
果菜一発 [15-10-10] N P K	2.0 ~ 3.0kg	露地果菜類の全量元肥の一発肥料。窒素分は速効性の尿素のほか、有機質の菜種粕、および緩効性はロング(120日)・LPコート(100日)など3種類を含み、基本的には追肥はいらない。
NK化成 [18-0-18] N P K	適宜	窒素成分のうち、速効性の硝酸態窒素を50%含む。即効性なので、特に追肥に適する。



秋定植の品目は融雪直後に追肥し、肥大を促しましょう。

### 【イチゴ】

- 越冬時に損傷した葉や枯葉を取り除く。
- 追肥は枯葉かき終了直後に遅れずに施す。



追肥資材	10 m <sup>2</sup> 当たり
MMB燐加安	0.4kg

### 【タマネギ、ニンニク】



- 1回目の追肥は融雪直後、早めに行う。
- 2回目の追肥は1回目から1ヶ月後に行う。

**注意** 追肥が遅れると品質低下に繋がります。

	追肥資材	10 m <sup>2</sup> 当たり	
		1回目	2回目
タマネギ	NK化成	0.3kg	0.4kg
		0.3kg	0.3kg

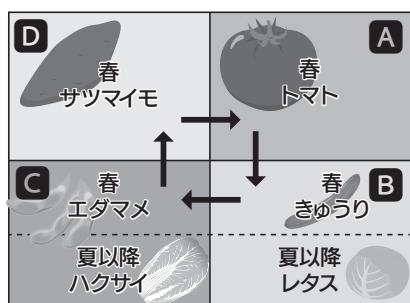
## 収穫量を上げるためにここは抑えましょう!

### 輪作や接ぎ木苗の利用で連作障害の防止が重要です!

連作障害とは、同じ畑に同じ作物、または近縁の作物を連続して作ると生育不良や、病害虫の発生が多くなり、収穫量、品質に悪影響を及ぼすことです。連作障害を発生させないためには、野菜の科を把握し、作付計画をしっかりと立てることや土壤消毒や接ぎ木苗を利用することが重要です。

#### 1. 輪作による連作障害対策

野菜ごとのグループでは、連作障害が発生しやすいものとそうでないものがあります。畑を分けし、種類の異なる野菜を順番に植えていく輪作で連作障害の発生を抑えましょう。



畑を4区画に分け、1年毎に作る作物をローテーションする。1区画に(例ではD)に連作障害の少ない作物を割り当てる。

#### 【連作によって発生しやすい主な病気や害虫】

科名	野菜名	発生しやすい病気や害虫	有効な対策
アブラナ科	キャベツなど	萎黄病、根こぶ病など	病害抵抗性品種の種子を選択
ウリ科	キュウリ、スイカなど	つる割病、線虫など	
ナス科	トマト	青枯病、半身萎凋病、線虫など	接ぎ木苗の利用 土壤消毒
	ナス	青枯病、半枯病、線虫など	
	ピーマン	青枯病、線虫など	
マメ科	エダマメなど	立枯病、線虫など	土壤消毒

## ～JAからのお知らせ～

### 令和7年度「にいがた農業応援ファンド」募集のご案内

JAグループでは、園芸生産者の規模拡大や園芸生産への新規取組み等を実践する際に要する費用の一部を助成します。

#### ●園芸生産拡大支援事業 【助成率30%、上限30万円】

園芸生産の規模拡大や新たに園芸生産に取り組む担い手に対して、その取組みに要する費用の一部を助成します。

#### ●農業イノベーション応援事業 【助成率50%、上限50万円】

農業分野におけるスマート農業等の導入により、労働生産性の向上、またはカーボンニュートラル等の環境負荷軽減に繋がる農業経営に取り組む担い手に対して、その取組みに要する費用の一部を助成します。（園芸以外（水稻等）も対象とします）

#### ●新規・親元就農応援事業 【1事業対象者あたり1回のみ、上限10万円】

##### 【新規就農応援事業】

新規就農の促進と定着および後継者への事業承継に向けた後押しに繋げ、農業生産の拡大や農業を通じた地域活性化を図ることを目的として、新たに就農する農業者および親元に助成します。

申請期間 令和7年4月1日～令和7年6月30日

詳しい内容やお申込みにつきましては、営農指導課までお問い合わせください。

### 令和7年度 農産物ブランド力強化助成

南魚沼市農業再生協議会では、高品質・良食味米の生産や複合経営の推進を目的として、機械の購入の助成や、肥料・堆肥散布の作業委託費用の助成を実施します。

#### ① 機械購入助成

高品質化や作業の効率化に資する機械の購入費用を助成します。

対象機械	助成割合	対象者	申請方法
園芸 運搬車	30% (上限20万円)	管内の農業者	ご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。申請用紙など、必要な書類を郵送いたします。 <u>機械を購入する前に申請が必要です。購入した後で申請しても対象外になりますのでご注意ください。</u> <u>〈申請期限〉 7月31日(木)</u>
稻作 葉緑素計 (SPAD)	30% (上限5万円)		
米麦水分計			
土づくり ブロードキャスターなど	30% (上限10万円)		

#### ② 肥料・堆肥散布作業委託助成

第三者にブロードキャスターによる堆肥散布を委託したときや、市内業者に堆肥散布を委託したときの費用を助成します。

助成対象費用	助成額	対象者	申請方法
管内の農業者が経営する農地 (田・畠)	660円／10a (肥料散布・堆肥散布共通)	管内の農業者	申請をご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。申請用紙など必要な書類を郵送いたします。 <u>散布作業をする前に申請が必要です。作業をした後で申請しても対象外となりますのでご注意ください。</u>



### JAみなみ魚沼 営農部 LINE登録者募集!!

品質・収量の高位安定化を図るため、作業の「適期」をよりタイミングに配信していきますので、是非ご活用ください。QRより登録をお待ちしております。

ご登録をお待ちしております！



JAみなみ魚沼 営農部  
LINE QR



ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

◎アグリセンター大和 TEL777-3786 ◎アグリセンター六日町 TEL773-6121

◎しおざわ基幹センター TEL782-1171